

涙道ブジーの同意書

鈴木眼科クリニック院長 鈴木亨 殿

患者 _____ 様が平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日に受ける診療行為についての説明は下記の内容で行われました。

説明医師

説明年月日 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

1. お子様の病名は「先天性鼻涙管閉塞症」と考えられます。
2. 治療しなくても1歳までに96%、2歳までに98%が自然に治ります。
3. 生後6ヶ月頃からブジー治療ができるようになりますが、ブジーで治らないこともあります。
4. 1回のブジーは5分くらいで済みますが、2回以上行なうことがあります。
5. ブジーで涙道の正常部分も擦れてしまいますので、将来はこれが原因で涙目になる心配があります。
6. ブジー後に全身状態が悪くなり小児科入院治療が必要になることがあります（敗血症）。
7. 発熱、顔面蒼白、チアノーゼなどの異常があれば、すぐにかかりつけ小児科医の診察を受けてください。
8. ブジー後の敗血症から肺炎、髄膜炎、股関節炎などを発症した例があります。
9. 敗血症予防の抗生剤を処方しますので、必ず当日朝から内服させてください。
10. 予約日にお子様に風邪などの体調不良があれば、来院されてもブジーはできません。電話で予約を取り直してください。

上記診療行為について、医師と看護師から十分な説明を受け、承諾しましたので、診療行為を受けることに同意します。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 患児氏名 _____ 印

保護者氏名 _____ 印

連絡先 _____

平成 24 年 6 月 15 日改訂